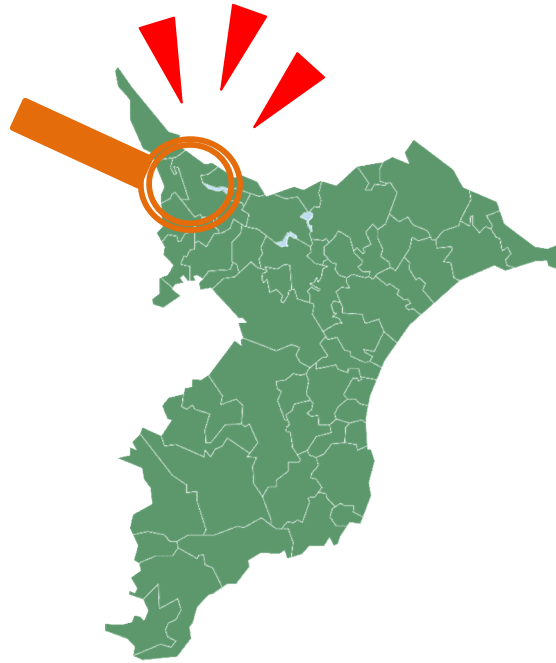


2026・3

柏の景気情報

令和8（2026）年3月の調査結果



柏商工会議所

The kashiwa Chamber Of Commerce and Industry

（本件担当） 柏商工会議所 中小企業相談所

〒277-0011 千葉県柏市東上町7-18

TEL : 04-7162-3305

FAX : 04-7162-3323

URL : <http://www.kashiwa-cci.or.jp>

E-mail : info@kashiwa-cci.or.jp

柏の景気情報 (令和8年3月の調査結果のポイント)

★調査結果のまとめ

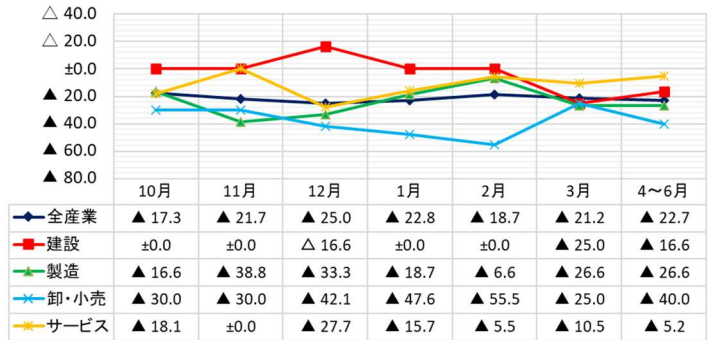
回答期間：令和8年3月23日～令和8年4月2日 調査対象：柏市内173事業所及び組合にヒアリング、回答数66

継続する値上げと人手不足が経営を直撃。国際情勢の悪化やルールの変更に不安の声、「先が見えない」状況に広がる警戒感

3月の全産業合計の業況DI値（前年同月比ベース、以下同じ）は、▲21.2（前月水準▲18.7）となりマイナス幅が2.5ポイント増加した。

各業界、消費者の買い控えに加え、国際情勢の緊迫や制度変更による不透明な先行きに、物価・燃料高と人手不足が収益を圧迫している。コスト増の吸収が各業界喫緊の課題になっている。

柏の景気情報・産業別業況DI



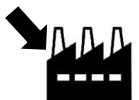
★業種別の動向

前月と比べたDI値の動き 改善 横ばい 悪化



建設業

「依然として建設資材の高騰は続いている状況である。発注者も課題としている若者の雇用採用が思うように結果が出ず、賃金のアップ及び魅力のある職場のPRに更なる力を入れていかないと建設業界の維持・発展は困難である」（土木工事業）「中東情勢の悪化による物価高、コスト高が懸念され、それをカバーする受注に努めたい。今後の経営安定化のため、新たなビジネスモデルの構築や、運転資金等の継続融資を申請することが課題である」（地質調査・地質コンサルタント）



製造業

「3カ月前までは現状維持の状態が続くが、今後原油価格の上昇・物価の上昇が続くと製造業は業績の悪化になると思われる」（一般産業用機械・装置製造業）「原材料、エネルギーコストの上昇が続いている」（その他の機械・同部品製造業）



卸・小売業

「イラン紛争が始まり、客数及び一客当りの買上点数は下落している。ホルムズ海峡封鎖による原油の高騰で先行き不透明感が増して買い控えが起きている。唯一の例外は調剤薬局で花粉飛散とインフルエンザの流行で持ちこたえている。イラン紛争が収まらない限りこの傾向は変わらない。」（大型小売店）「定期的に仕入れ値が高騰。どこまで光熱費が上昇するのか心配している」（その他の各種商品小売業）



サービス業

「原油価格高騰による資材、食材の値上がり懸念材料。また、食品の消費税減税が実施されると飲食店にとっては、消費者の外出控えや、仕入れ消費税控除による相殺が出来なくなることなどで悪影響が多く不安材料多い」（日本料理）「不動産の価格上昇は落ち着いてきたが、高止まりの状況。新築建売りの売れゆきも鈍い。ガソリン価格の値上がりがおきており、購入客の動きも鈍い。皆さん将来への不安から、様子見ている」（不動産管理業）「今後、原油が高騰した場合、更に、様々なものの価格が上昇することを懸念。」（不動産賃貸・管理業）「新規の学生アルバイトを採用する時期だが、都内の学生アルバイトの時給と比較されると大変厳しい」（学習塾）

★全国の商工会議所早期景気観測調査（CCI-LOBO）との比較

全産業合計では、「柏の景気」が▲21.2に対し、「CCI-LOBO」が▲20.0で、柏のほうがマイナス幅が1.2ポイント大きい。「柏の景気」の方が良い業種は、卸小売業、サービス業である。「柏の景気」の方が悪い業種は、建設業、製造業である。

今月の柏の景気天気図

柏の景気情報と全国CCI - LOBOとの比較

景気天気図					
	特に好調 DI ≥ 50	好調 50 > DI ≥ 25	まあまあ 25 > DI ≥ 0	不振 0 > DI ≥ ▲25	極めて不振 ▲25 > DI
業況DI	全産業	建設	製造	卸小売	サービス
柏の景気	 ▲ 21.2	 ▲ 25.0	 ▲ 26.6	 ▲ 25.0	 ▲ 10.5
CCI-LOBO	 ▲ 20.0	 ▲ 15.5	 ▲ 19.1	 ▲ 25.1	 ▲ 15.1
売上DI	全産業	建設	製造	卸小売	サービス
柏の景気	 ▲ 19.6	 ▲ 8.3	 ▲ 33.3	 ▲ 25.0	 ▲ 10.5
CCI-LOBO	 ▲ 6.4	 ▲ 8.7	 ▲ 6.2	 ▲ 10.2	 0.4
採算DI	全産業	建設	製造	卸小売	サービス
柏の景気	 ▲ 21.2	 ▲ 8.3	 ▲ 20.0	 ▲ 30.0	 ▲ 21.0
CCI-LOBO	 ▲ 17.8	 ▲ 13.6	 ▲ 14.8	 ▲ 23.8	 ▲ 18.6
仕入単価DI	全産業	建設	製造	卸小売	サービス
柏の景気	 ▲ 65.1	 ▲ 50.0	 ▲ 66.6	 ▲ 75.0	 ▲ 63.1
CCI-LOBO	 ▲ 63.9	 ▲ 67.5	 ▲ 59.9	 ▲ 70.2	 ▲ 61.6
従業員DI	全産業	建設	製造	卸小売	サービス
柏の景気	 22.7	 41.6	 20.0	 10.0	 26.3
CCI-LOBO	 21.5	 41.2	 13.2	 15.9	 25.7
資金繰りDI	全産業	建設	製造	卸小売	サービス
柏の景気	 ▲ 9.0	 ▲ 16.6	 ▲ 6.6	 ▲ 5.0	 ▲ 10.5
CCI-LOBO	 ▲ 12.3	 ▲ 6.2	 ▲ 13.0	 ▲ 16.2	 ▲ 12.5

CCI - LOBO

商工会議所早期景気観測 (3月速報)

調査期間：2025年3月13日～18日

調査対象：全国の326商工会議所が2,455企業にヒアリング調査を実施

全国の業況

業況DIは、原油高・円安が重荷となり悪化

先行きは、国際情勢への不安から慎重な見方

全産業合計の業況DIは、
▲20.0 (前月比▲3.2ポイント)

建設業では、長引くコスト高に中東情勢の緊迫化に伴う原油価格・資材価格の上昇が重なり、悪化した。製造業でも、住宅関連工事の減少を受けた木材製品製造業の引き合い減少に加え、原油価格・資材価格の上昇が足かせとなり、悪化した。また、燃料価格上昇に伴い消費者の節約志向も高まっており、卸売業やサービス業で飲食料品関係の引き合いが減少し、悪化した。

高水準での賃上げや政府の物価高対策等が下支えとなり、消費マインドは回復傾向にあったものの、足もとの国際情勢の不安定化により、業況は再び悪化に転じた。

先行き見通しDIは、▲21.5 (今月比▲1.5ポイント)

設備投資や観光需要は引き続き堅調に推移しているほか、高水準での賃上げが続く中、今後の新生活シーズンや大型連休における需要増加が期待される

一方、国際情勢を不安視する声が続く中、聞かれており、足もとの原油高・円安の長期化による採算悪化や、消費マインド悪化への懸念から、先行きは慎重な見方となっている

【建設業】

「中東情勢の緊迫化を背景とした原油価格の上昇により、今後塗料などの資材価格が上昇することが懸念される。また、慢性的な人手不足に対応するため、外国人材の活用を拡大する方針にあるが、在留資格審査の厳格化や不法就労対策など、受け入れ・管理体制を整備する必要がある」(一般工事業)

「原油の値上がりに伴い、

資材価格や物流費が上昇しており、経営の大きなマイナス要素となっている」(建築工事業)

【製造業】

「物価高騰により住宅業界は過去最低水準の着工数である。それに加え、最近の原油価格の上昇により一層の資材価格の高騰が懸念され、景気が良くなることが想像できない」(木材製成品製造業)

「足もとの燃料費高騰により消費者の節約志向が高まっており、贅沢品である自社製品は売上が減少している」(パイン・菓子製造業)

【卸売業】

「消費者の節約志向の高まりの影響か、想定した売上を下回った。生産性向上による利益確保を急ぎ、4月から受発注システムにAIを取り入れる予定であるが、未知の領域へのチャレンジとなる中、導入に際して予算の2倍近くの資金を投入することになった」(飲食料品卸売業)

「住宅の着工戸数の減少により、販売先からの受注が減少している。住宅関連業以外の新規取引先の開拓を進める必要がある」(建築金属材料卸売業)

【小売業】

「足もとの株価下落の影響等により、高額品を中心に買い控えがみられており、売上に影響が出始めている」(百貨店)

「建設コストが大幅に上昇しており、新店舗建設がこれまで通りの予算ではとても対応できない状況にある。また、最近新規オープンした店舗では、当初の募集では従業員が集まらず、オープンを遅らせた事例もあり、新規出店に慎重にならざるを得ない」(食品スーパー)

【サービス業】

「当店が提供する食料品のほとんどが輸入品のため、足もとの円安がダイレクトに業況に影響している。また、顧客の節約意識も高まっており、客数が減少しているほか、低価格帯の商品の売上構成が高まっている」(飲食店)

「中東情勢の悪化に伴い原油価格が高騰している。せっかく暫定税率が廃止されたのに、逆戻りとなり、先行きが不安である」(運送業)

全国・産業別業況DIの推移

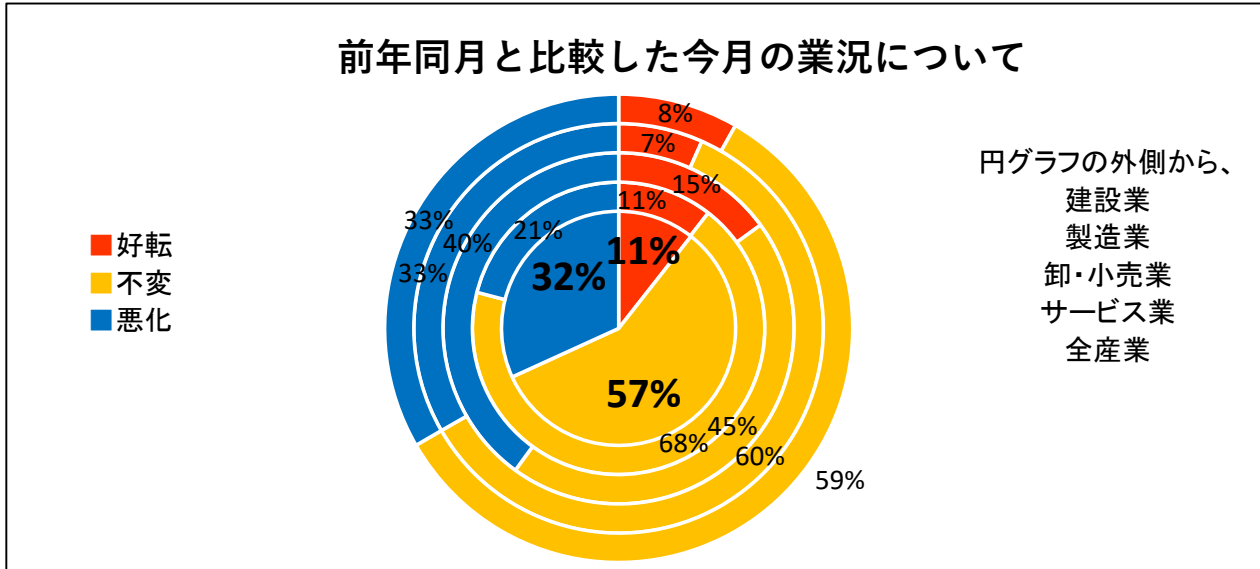
「見通し」は当月水準と比較した向こう3ヶ月の先行き見通しDI

	全産業	建設	製造	卸売	小売	サービス
10月	▲18.9	▲13.5	▲21.0	▲24.2	▲29.3	▲10.0
11月	▲17.9	▲16.5	▲19.7	▲24.7	▲26.4	▲7.7
12月	▲18.0	▲14.7	▲21.6	▲23.4	▲24.0	▲9.9
1月	▲17.9	▲15.2	▲17.2	▲23.8	▲25.1	▲12.1
2月	▲16.8	▲13.6	▲13.6	▲23.5	▲24.8	▲13.0
3月	▲20.0	▲15.5	▲19.1	▲30.2	▲25.1	▲15.1
見通し	▲21.5	▲17.6	▲21.6	▲31.9	▲24.0	▲17.3

令和8年（2026年）3月の動向

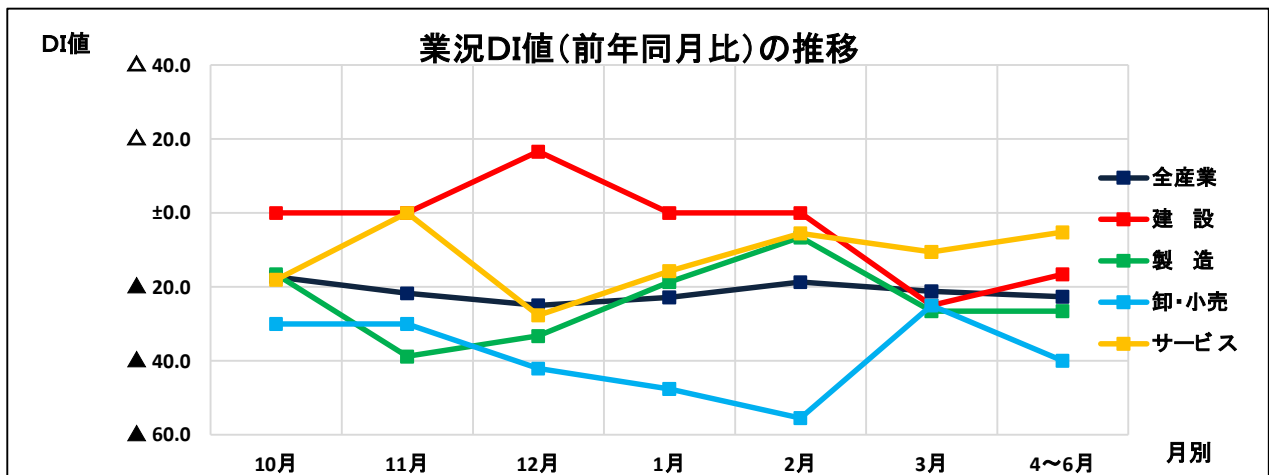
【業況について】

- 3月の全産業合計のDI値（前年同月比ベース、以下同じ）は、▲21.2（前月水準▲18.7）となり、マイナス幅が2.5ポイント拡大した。
- 向こう3ヶ月（4月から6月）の先行き見通しについては、全産業では、22.7（前月水準△0.0）となり、マイナス幅が22.7ポイント拡大した。



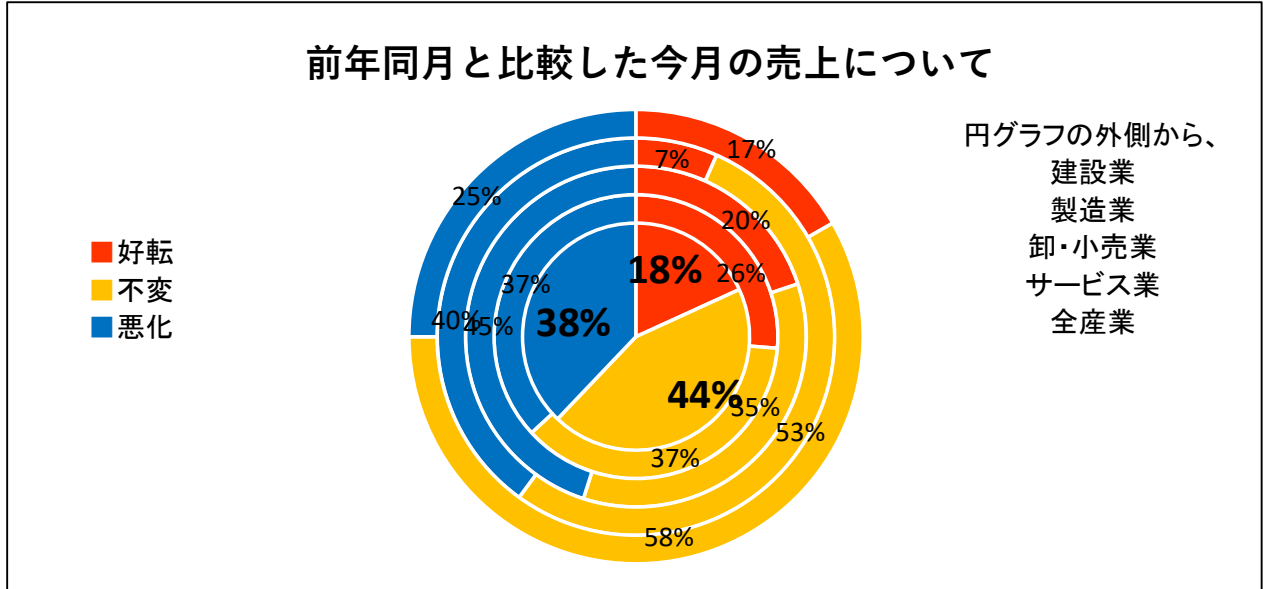
業況DI値（前年同月比）の推移 ※DI=「好転」の回答割合-「悪化」の回答割合

	令和7年			令和8年			先行き見通し	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4~6月 (3~5月)	
全産業	▲ 17.3	▲ 21.7	▲ 25.0	▲ 22.8	▲ 18.7	▲ 21.2	▲ 22.7 (±0.0)	
建設	±0.0	±0.0	△ 16.6	±0.0	±0.0	▲ 25.0	▲ 16.6 (±0.0)	
製造	▲ 16.6	▲ 38.8	▲ 33.3	▲ 18.7	▲ 6.6	▲ 26.6	▲ 26.6 (±0.0)	
卸・小売	▲ 30.0	▲ 30.0	▲ 42.1	▲ 47.6	▲ 55.5	▲ 25.0	▲ 40.0 (▲ 11.1)	
サービス	▲ 18.1	±0.0	▲ 27.7	▲ 15.7	▲ 5.5	▲ 10.5	▲ 5.2 (△ 11.1)	



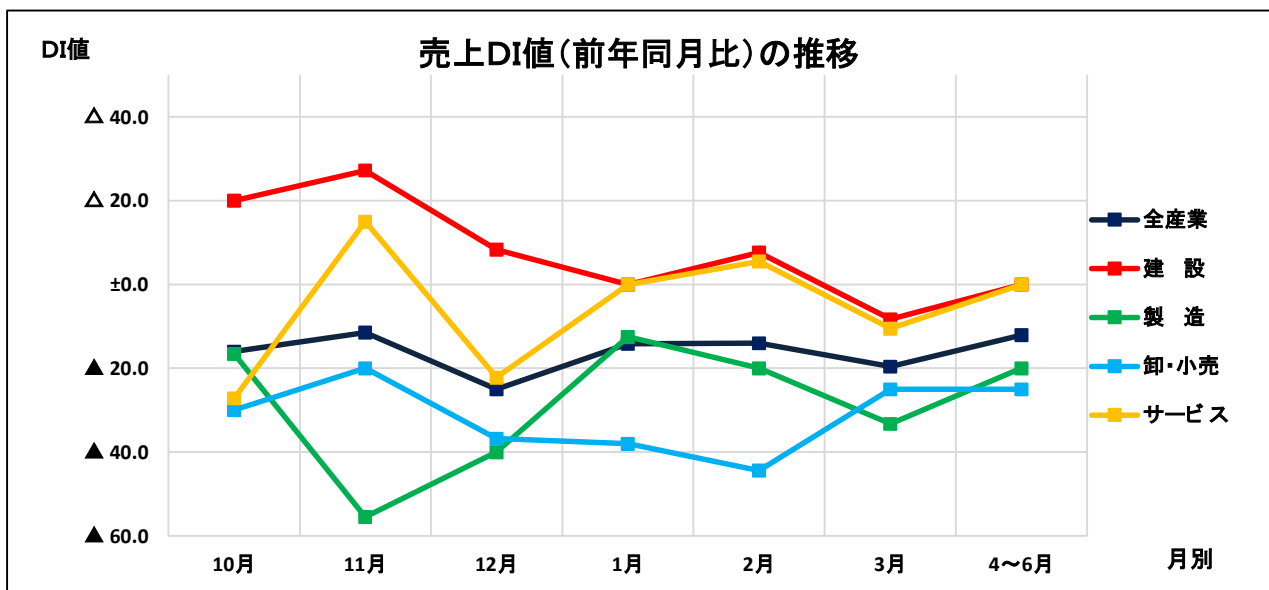
【売上について】

- 3月の全産業合計のDI値(前年同月比ベース、以下同じ)は、▲19.6 (前月水準▲14.0)となり、マイナス幅5.5ポイント拡大した。
- 向こう3ヶ月(4月から6月)の先行き見通しについては、全産業では、▲12.1 (前月水準△10.9)となり、マイナス幅が23.0ポイント拡大した。



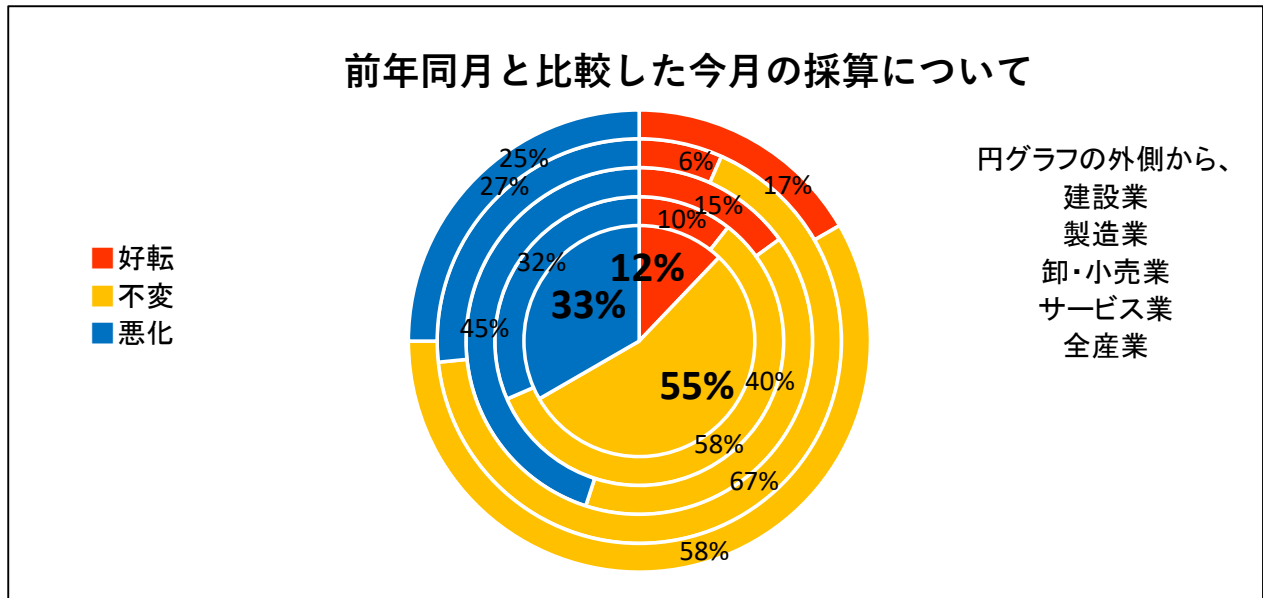
売上DI値 (前年同月比) の推移 ※DI=「増加」の回答割合-「減少」の回答割合

	令和7年			令和8年			先行き見通し	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4~6月 (3~5月)	
全産業	▲ 16.0	▲ 11.5	▲ 25.0	▲ 14.2	▲ 14.0	▲ 19.6	▲ 12.1 (△ 10.9)	
建設	△ 20.0	△ 27.2	△ 8.3	±0.0	△ 7.6	▲ 8.3	±0.0 (△ 7.6)	
製造	▲ 16.6	▲ 55.5	▲ 40.0	▲ 12.5	▲ 20.0	▲ 33.3	▲ 20.0 (△ 13.3)	
卸・小売	▲ 30.0	▲ 20.0	▲ 36.8	▲ 38.0	▲ 44.4	▲ 25.0	▲ 25.0 (△ 5.5)	
サービス	▲ 27.2	△ 15.0	▲ 22.2	±0.0	△ 5.5	▲ 10.5	±0.0 (△ 16.6)	



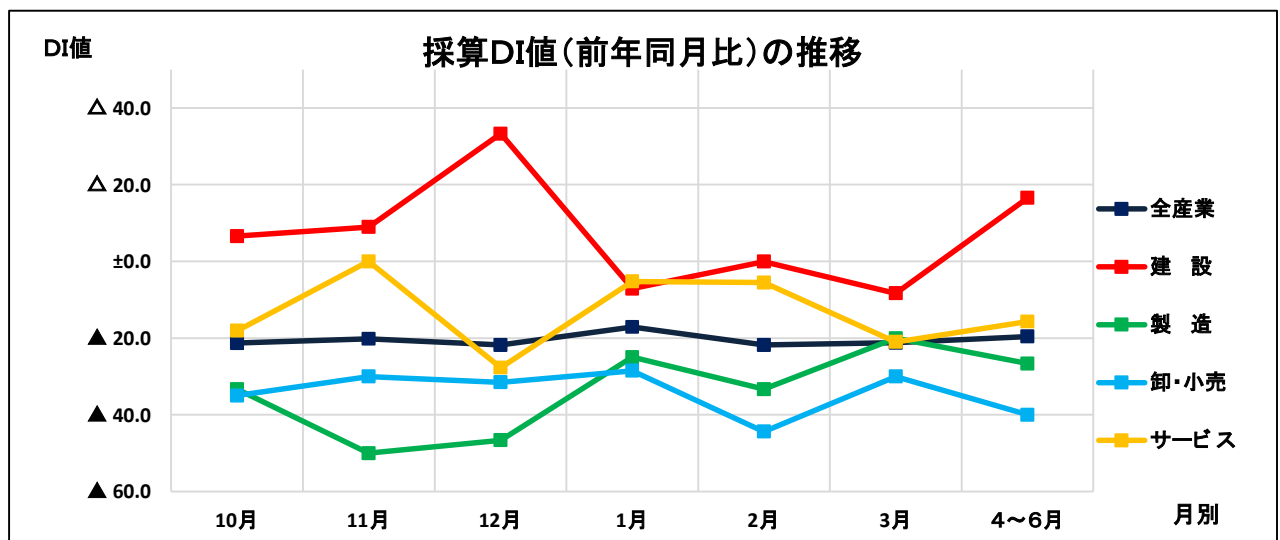
【採算について】

- 3月の全産業合計のDI値(前年同月比ベース、以下同じ)は、▲21.2(前月水準▲21.8)となり、マイナス幅が0.6ポイント縮小した。
- 向こう3ヶ月(4月から6月)の先行き見通しについては、全産業では、▲19.6(前月水準△10.9)であり、マイナス幅が30.5ポイント縮小する見通しである。



採算DI値(前年同月比)の推移 ※DI=「好転」の回答割合-「悪化」の回答割合

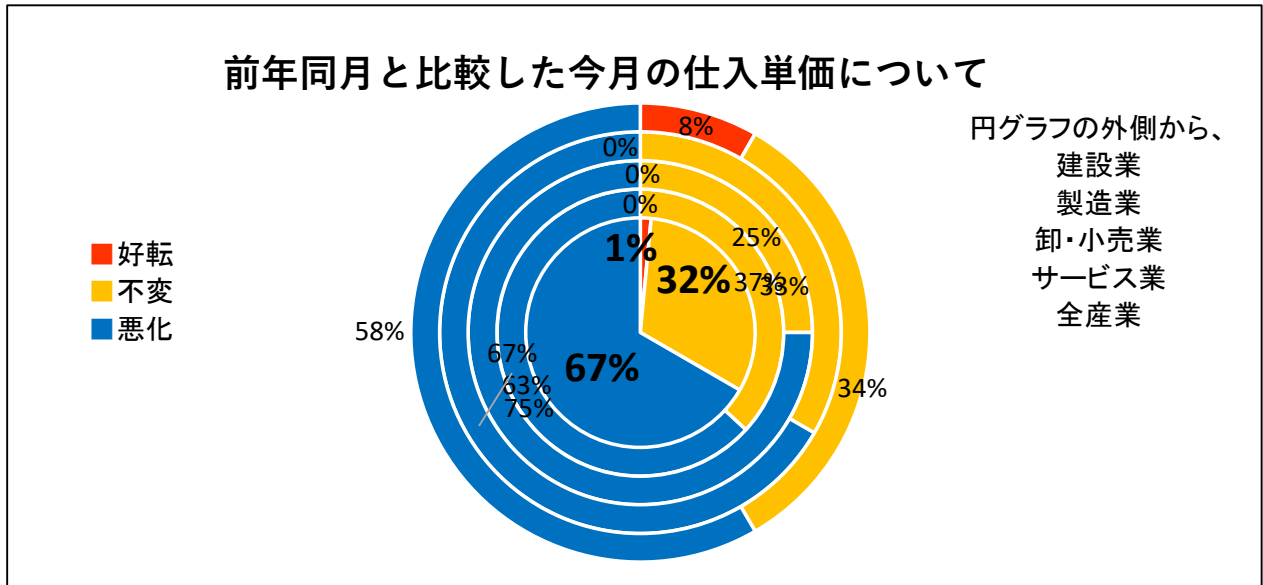
	令和7年			令和8年			先行き見通し	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4~6月 (3~5月)	
全産業	▲21.3	▲20.2	▲21.8	▲17.1	▲21.8	▲21.2	▲19.6 (△10.9)	
建設	△6.6	△9.0	△33.3	▲7.1	±0.0	▲8.3	△16.6 (△15.3)	
製造	▲33.3	▲50.0	▲46.6	▲25.0	▲33.3	▲20.0	▲26.6 (△6.6)	
卸・小売	▲35.0	▲30.0	▲31.5	▲28.5	▲44.4	▲30.0	▲40.0 (△5.5)	
サービス	▲18.1	±0.0	▲27.7	▲5.2	▲5.5	▲21.0	▲15.7 (△16.6)	



【仕入単価について】

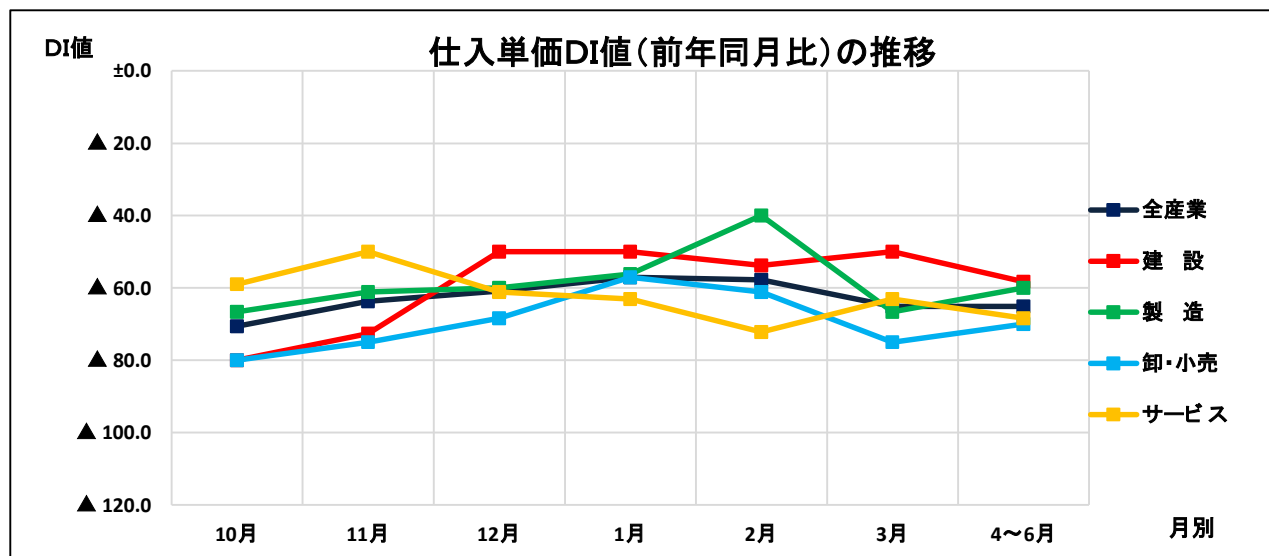
○ 3月の全産業合計のDI値(前年同月比ベース、以下同じ)は、▲65.1(前月水準▲57.8)となり、マイナス幅7.3ポイント拡大した。

○ 向こう3ヶ月(4月から6月)の先行き見通しについては、全産業では、▲65.1(前月水準▲57.8)となり、マイナス幅が7.3ポイント拡大する見通しである。



仕入単価DI値(前年同月比)の推移 ※DI=「下落」の回答割合-「上昇」の回答割合

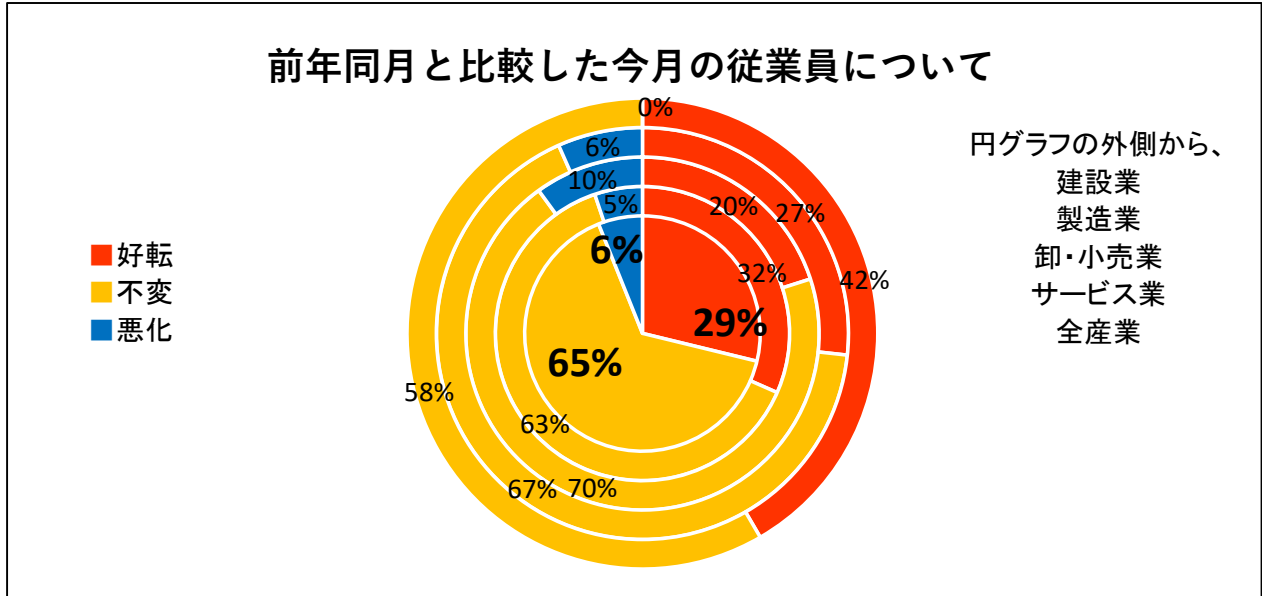
	令和7年			令和8年			先行き見通し	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4~6月 (3~5月)	
全産業	▲70.6	▲63.7	▲60.9	▲57.1	▲57.8	▲65.1	▲65.1 (▲57.8)	
建設	▲80.0	▲72.7	▲50.0	▲50.0	▲53.8	▲50.0	▲58.3 (▲53.8)	
製造	▲66.6	▲61.1	▲60.0	▲56.2	▲40.0	▲66.6	▲60.0 (▲40.0)	
卸・小売	▲80.0	▲75.0	▲68.4	▲57.1	▲61.1	▲75.0	▲70.0 (▲66.6)	
サービス	▲59.0	▲50.0	▲61.1	▲63.1	▲72.2	▲63.1	▲68.4 (▲66.6)	



【従業員について】

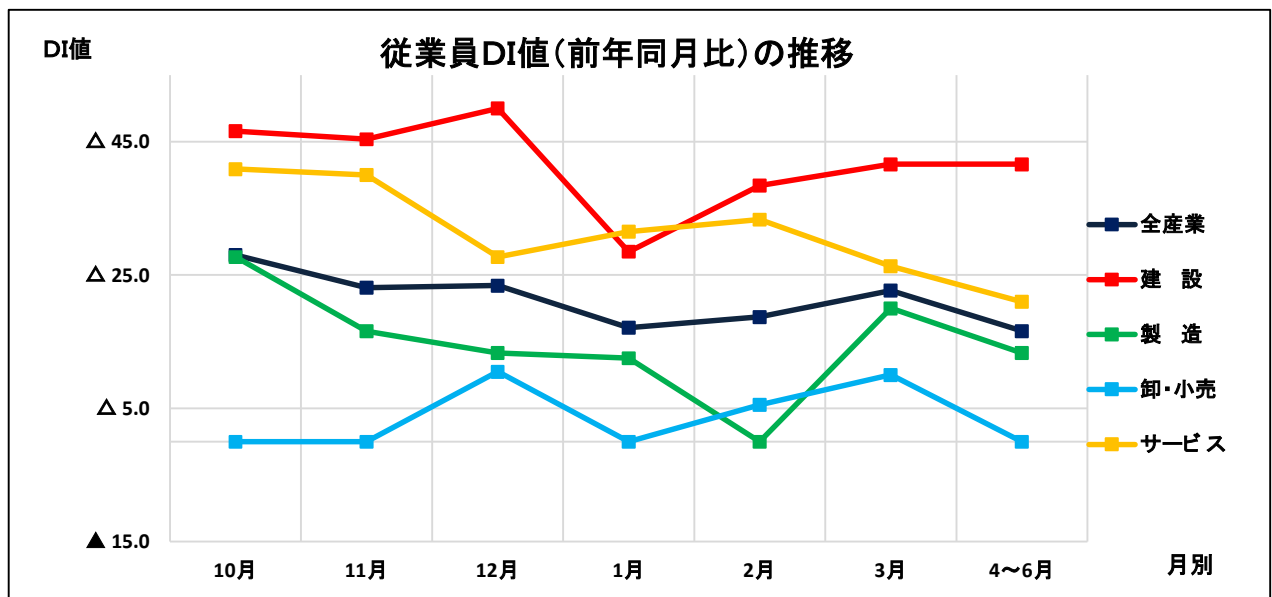
○ 3月の全産業合計のDI値(前年同月比ベース、以下同じ)は、△22.7(前月水準△18.7)となり、プラス幅が4.0ポイント拡大した。

○ 向こう3ヶ月(4月から6月)の先行き見通しについては、全産業では、△16.6(前月水準△25.0)となり、プラス幅8.4ポイント縮小する見通しである。



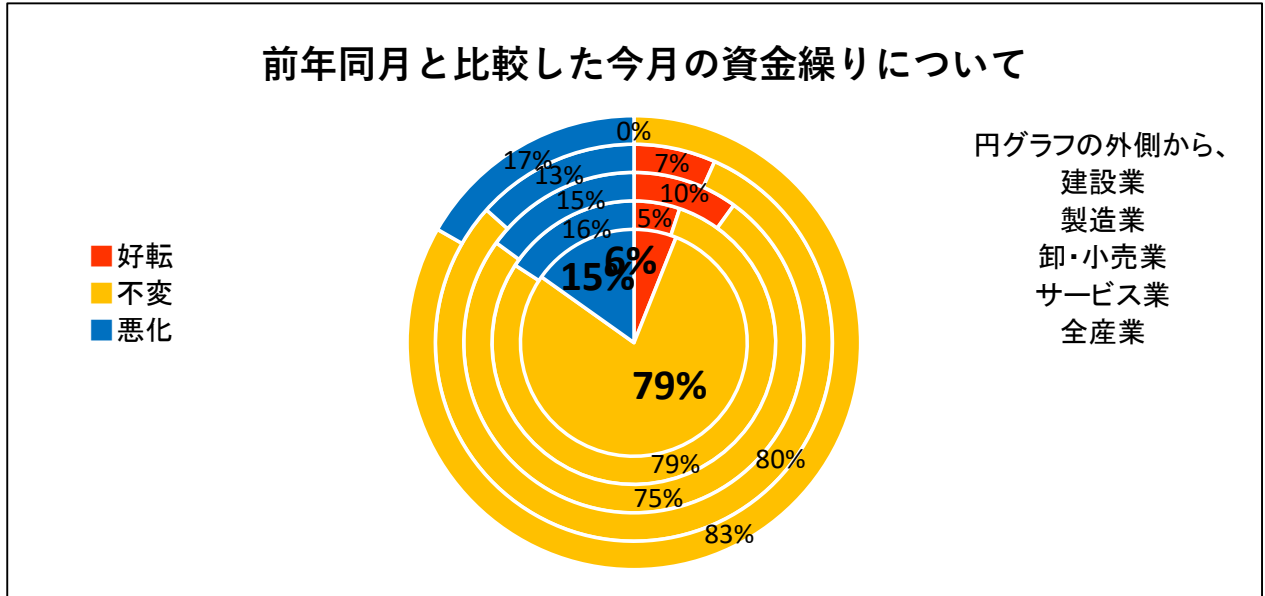
従業員DI値(前年同月比)の推移 ※DI=「過剰」の回答割合-「不足」の回答割合

	令和7年			令和8年			先行き見通し	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4~6月 (3~5月)	
全産業	△ 28.0	△ 23.1	△ 23.4	△ 17.1	△ 18.7	△ 22.7	△ 16.6 (△ 25.0)	
建設	△ 46.6	△ 45.4	△ 50.0	△ 28.5	△ 38.4	△ 41.6	△ 41.6 (△ 46.1)	
製造	△ 27.7	△ 16.6	△ 13.3	△ 12.5	±0.0	△ 20.0	△ 13.3 (△ 13.3)	
卸・小売	±0.0	±0.0	△ 10.5	±0.0	△ 5.5	△ 10.0	±0.0 (△ 11.1)	
サービス	△ 40.9	△ 40.0	△ 27.7	△ 31.5	△ 33.3	△ 26.3	△ 21.0 (△ 33.3)	



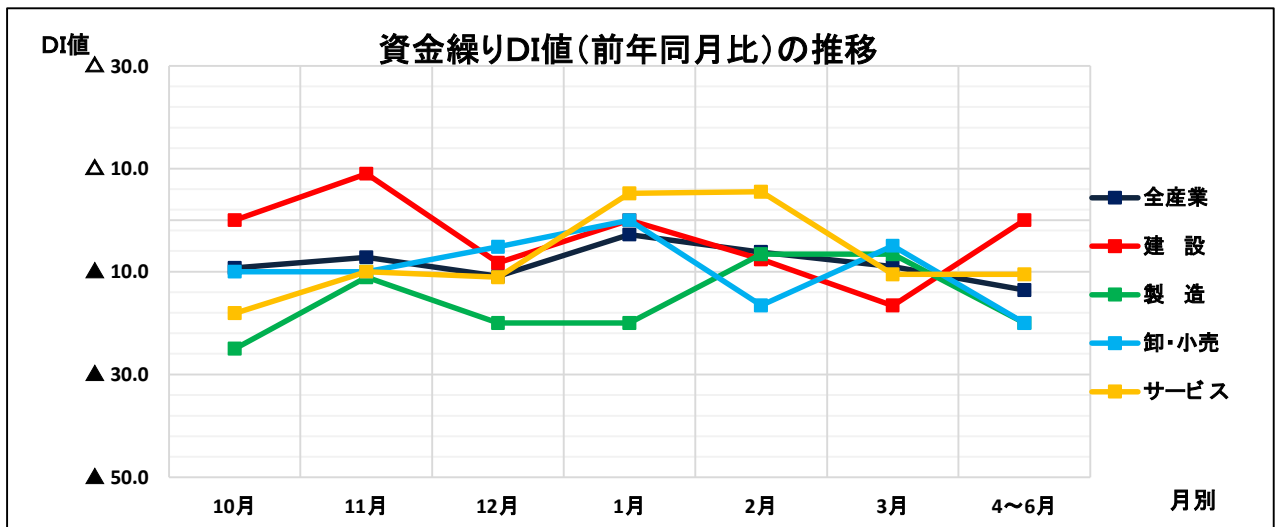
【資金繰りについて】

- 3月の全産業合計のD I値(前年同月比ベース、以下同じ)は、▲9.0(前月水準▲6.2)となり、マイナス幅が2.8ポイント拡大した。
- 向こう3ヶ月(4月から6月)の先行き見通しについては、全産業では、▲13.6(前月水準▲1.5)となり、マイナス幅が12.1ポイント拡大する見通しである。



資金繰りD I値(前年同月比)の推移 ※DI=「好転」の回答割合-「悪化」の回答割合

	令和7年			令和8年			先行き見通し	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4~6月 (3~5月)	
全産業	▲9.3	▲7.2	▲10.9	▲2.8	▲6.2	▲9.0	▲13.6 (▲1.5)	
建設	±0.0	△9.0	▲8.3	±0.0	▲7.6	▲16.6	±0.0 (±0.0)	
製造	▲25.0	▲11.1	▲20.0	▲20.0	▲6.6	▲6.6	▲20.0 (±0.0)	
卸・小売	▲10.0	▲10.0	▲5.2	±0.0	▲16.6	▲5.0	▲20.0 (▲11.1)	
サービス	▲18.1	▲10.0	▲11.1	△5.2	△5.5	▲10.5	▲10.5 (△5.5)	

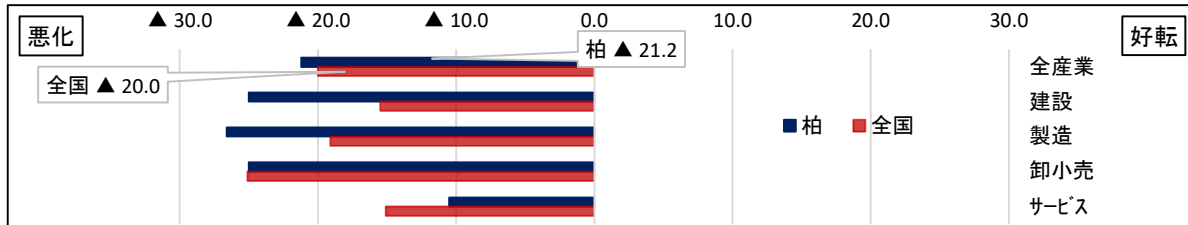


全国（CCI-LOBO）との比較

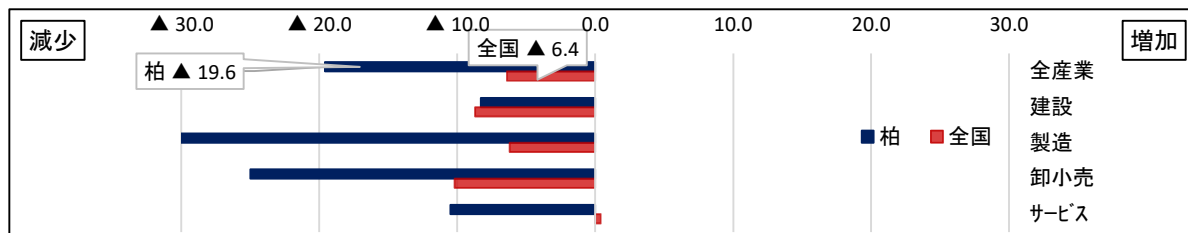
【CCI-LOBOとは】

日本商工会議所が各地商工会議所のネットワークを活用し、地域や中小企業が「肌で感じる足元の景況感」や「直面する経営課題」を全国ベースで毎月調査し、その結果を集計・公表するものです

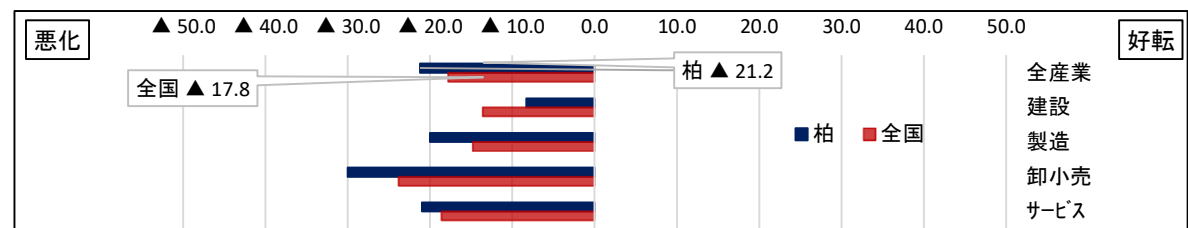
【業況D I】



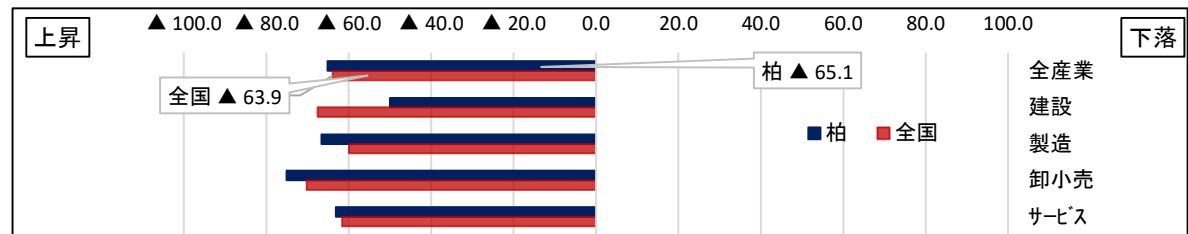
【売上D I】



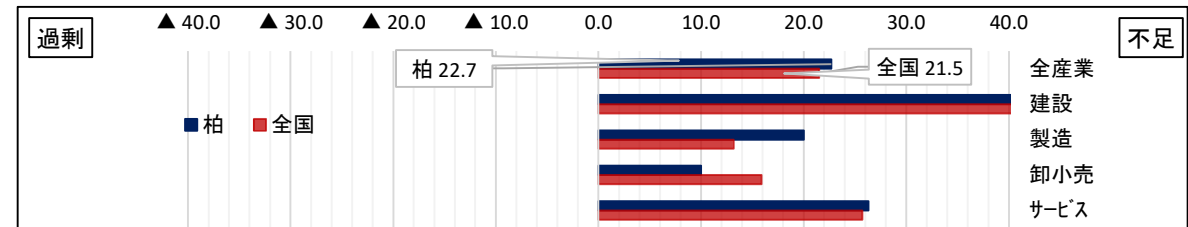
【採算D I】



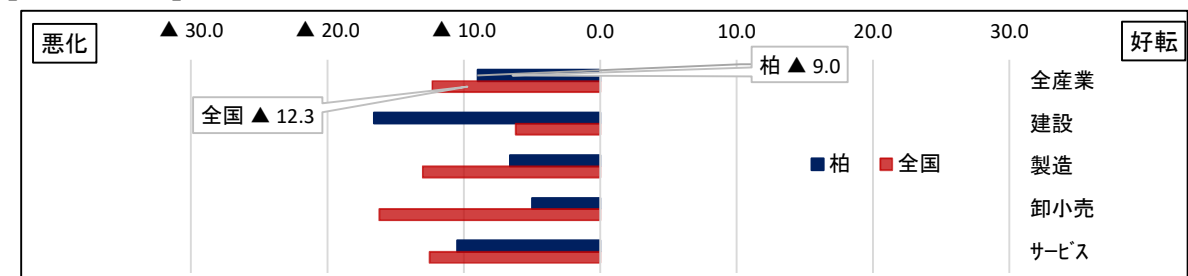
【仕入単価D I】



【従業員D I】



【資金繰りD I】



【業種別】業界内トピックス

業種別	概 況	業種
建設業	大口の取引先が工事単価をあげてくださったので、材料費高騰にも対応できています。	畳工事請負・畳製造販売業
	依然として建設資材の高騰は続いている状況である。発注者も課題としている若者の雇用採用が思うように結果が出ず、賃金のアップ及び魅力のある職場のPRに更なる力を入れていかないと建設業界の維持・発展は困難である。	土木工事業
	価格も大事だが、どこに頼めばいいのか、だれを信用したらいいのか不安を抱えている方が多い。	一般土木建築工事業
	職員の賃金上昇を約6%アップとした。人手不足の補うために1名のパート職員採用を決定した。 中東情勢の悪化による物価高、コスト高が懸念され、それをカバーする受注に努めたい。 今後の経営安定化のため、新たなビジネスモデルの構築や、運転資金等の継続融資を申請することが課題である。	地質調査・地質コンサルタント
製造業	原材料、エネルギーコストの上昇が続いている	その他の機械・同部品製造業
	ホルムズ海峡閉鎖の影響で材料調達が懸念される。	プラスチック加工
	3カ月先まで位は現状維持の状態が続くが、今後原油価格の上昇・物価の上昇が続くと製造業は業績の悪化になると思われる。	一般産業用機械・装置製造業
卸・小売業	イラン紛争が始まり、客数及び一客当りの買上点数は下落している。 ホルムズ海峡封鎖による原油の高騰で先行き不透明感が増して買い控えが起きている。 唯一の例外は調剤薬局で花粉飛散とインフルエンザの流行で持ちこたえている。 イラン紛争が収まらない限りこの傾向は変わらない。 26年度も経費の適正化とDX投資による人件費高騰の吸収を進めていく必要性が増している。	大型小売店
	*ほぼ定期的に仕入れ値が高騰。どこまで光熱費が上昇するのか心配。	その他の各種商品小売業
サービス業	今後、原油が高騰した場合、更に、様々なものの価格が上昇することを懸念。	不動産賃貸・管理業
	新規の学生アルバイトを採用する時期だが、都内の学生アルバイトの時給と比較されると大変厳しい。	学習塾
	柏は西口再開発の中止がネック。商工会議所のトップが高島屋に関係しているのになぜ？と皆が思っている。 東口に矛先を向けないで欲しい。会社を潰されます。	不動産賃貸業
	不動産の価格上昇は落ち着いてきたが、高止まりの状況。新築建売りの売れゆきも鈍い。ガソリン価格の値上がりがおきており、購入客の動きも鈍い。皆さん将来への不安から、様子見をしている。毎日戦争のニュースが多いので、もっと明るい話題が欲しいと思う。	不動産管理業
	原油価格高騰による資材、食材の値上がりが懸念材料。また、食品の消費税減税が実施されると飲食店にとっては、消費者の外出控えや、仕入れ消費税控除による相殺がなくなることなどで悪影響が多く不安材料多い。	日本料理

調査要領

回答期間

令和8年3月18日 ~ 令和8年4月2日

調査対象

柏市内173事業所及び組合にヒアリング

<業種別回収状況>

調査産業	調査対象数	回答数	回収率
全産業	173	66	38.2%
建設	38	12	31.6%
製造	44	15	34.1%
卸・小売	46	20	43.5%
サービス	45	19	42.2%

調査方法と調査票

下記「質問A」をDI値集計し、「質問B」で「業界内のトピック」の記述回答。

質問A

質問事項	回答欄					
	前年同月と比較した 今月の水準			今月の水準と比較した向こ う3ヶ月の先行き見通し		
	1 増加	2 不変	3 減少	1 増加	2 不変	3 減少
a.売上高（出荷高）	1 増加	2 不変	3 減少	1 増加	2 不変	3 減少
b.採算 （経常利益ベース）	1 好転	2 不変	3 悪化	1 好転	2 不変	3 悪化
c.仕入単価	1 下落	2 不変	3 上昇	1 下落	2 不変	3 上昇
d.従業員	1 不足	2 適正	3 過剰	1 不足	2 適正	3 過剰
e.業況	1 好転	2 不変	3 悪化	1 好転	2 不変	3 悪化
f.資金繰り	1 好転	2 不変	3 悪化	1 好転	2 不変	3 悪化

質問B 業界内のトピック（記述式）

※DI値（景況判断指数）について

DI値は、業況・売上・採算などの各項目についての、判断の状況を表す。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向きを表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。したがって、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりの意味する。

$$DI = (\text{増加・好転などの回答割合}) - (\text{減少・悪化などの回答割合})$$

※DI値と景気の概況

DI ≥ 50	50 > DI ≥ 25	25 > DI ≥ 0	0 > DI ≥ ▲25	▲25 > DI
特に好調	好調	まあまあ	不振	極めて不振
				